

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者	安江 麻里				
使用教科書	東書「科学と人間生活」(生基 701)	副教材	ニューサポート科学と人間生活		
スクーリング	必要出席時間数	2 単位×4 = 8 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	2 単位×3 = 6 枚			
期末試験	合格得点目標	20 点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	1 編 生命の科学 1 章 生物と光	○	○□		No.1	○	○	○	1 5
5	2 章 微生物とその利用 2 編 物質の化学 1 章 材料とその再利用	○	○□		No.1 5/12 No.2	○	○	○	2 5
6	2 章 衣料と食品	○□	○□		No.2 6/16 No.3	○	○	○	2 5
7		○□	○□		No.3 7/14	○	○	○	4
8	試験対策								
9	前期期末試験 テスト直し 3 編 光や熱の科学 1 章 光の性質とその利用			○□		○	○		
10	2 章 熱の性質とその利用	○	○□		No.4 10/13 No.5	○	○	○	2 5
11	4 編 宇宙や地球の科学 1 章 身近な天体と太陽系における地球	○□	○□		No.5 11/10 No.6	○	○	○	2 4
12	2 章 身近な自然景観と自然災害	○□	○□		No.6 12/15	○	○	○	4
1	後期期末試験(3年)			○□		○	○		